

【問い合わせ先】
海洋情報部監理課
監理課長 松村 治寿
電話 052-661-1611（内線 2510）



平成29年 1月25日
第四管区海上保安本部

測量船「明洋」が名古屋に入港

～報道関係者に公開します～

測量船「明洋」【清水 直哉（シミズ ナオヤ）船長】が、1月31日（火）午前10時頃、名古屋港に入港するにあたり、次のとおり船内取材を受け付けますので、希望される場合は、問い合わせ先へ連絡をお願いします。

同船は、海図データを更新するための沿岸測量のほか、巨大地震が発生すると考えられている南海トラフ沿いの陸側プレートの動きを探る海底地殻変動観測をしている船でもあります。

- 1 入港日時 平成29年1月31日（火）午前10時
- 2 着岸場所 名古屋港ガーデンふ頭1号岸壁
- 3 船内取材日時 平成29年1月31日（火）午後3時～4時の間
- 4 船内取材場所 着岸中の測量船「明洋」船内
※当日は、午後2時45分までに第四管区海上保安本部庁舎玄関にお集まり下さい。
- 5 船内取材の内容
 - (1) 測量船「明洋」船内（観測室及び船橋）
 - (2) 調査内容等の説明
 - ・沿岸測量（大王埼北東方）について
説明者：第四管区海上保安本部海洋情報部海洋調査課
主任海洋調査官 長瀬 裕介（ナガセ ユウスケ）
 - ・海底地殻変動観測ほか測量船明洋が行う調査（機器）について
説明者：測量船明洋
観測長 吉田 茂（ヨシダ シゲル）
- 6 その他
 - ・別紙「取材申込書」にて、ご連絡をお願いします。
 - ・取材を効率的に進めるため、質問事項がありましたら事前にお知らせ下さい。
 - ・入港模様の撮影は可能です。希望される場合は、問い合わせ先へ連絡をお願いします。

【明洋着岸場所案内図】



測量船明洋（船型番号HL03）

総トン数 550トン

主要寸法（全長×巾）：60.0×10.5メートル

主要観測機器：複合測位装置、マルチビーム音響測深機
投下式鉛直水温連続測定装置（XBT）
多層音波流速計（ADCP）
海底地殻変動観測装置など

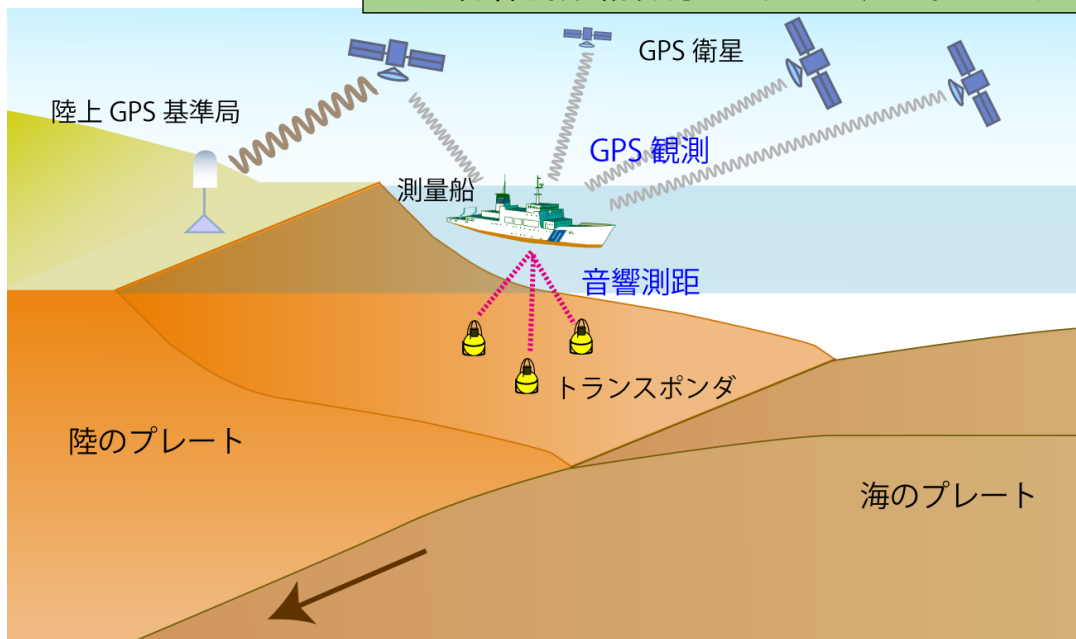
測量船「明洋」は、平成2年10月に就役し、海上保安庁海洋情報部に所属している測量船で、主に沿岸域での海底地形調査・海洋観測・海洋汚染調査・海底地殻変動観測等の調査の主力測量船として活躍しています。

【海底地殻変動観測の概要】

海上のGPS観測
海中の音響測位

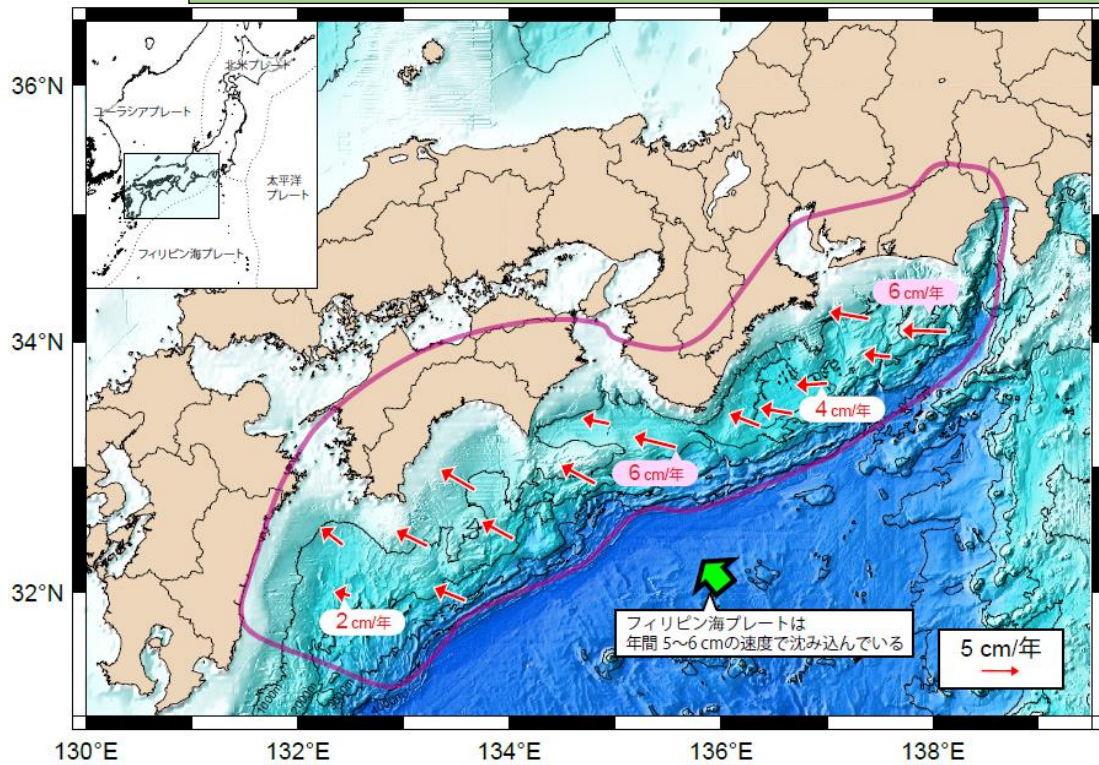
2つの技術を組み合わせて深海底の位置を測定

GPS-音響測距結合方式 (GPS-A) と呼ばれる



【南海トラフ巨大地震震源域での観測成果】

東北地方太平洋沖地震後、約4年間の観測による成果



南海トラフ付近の海底の移動速度 ( 南海トラフ地震想定震源域)

- ・ 場所によって移動速度が異なることを検出
- ・ 場所によって固着の状態が異なることを示唆
- ・ 陸の観測からは見えなかった画期的な成果

(別紙)

「測量船「明洋」(1/31)取材申込書」

F A X 0 5 2 - 6 5 4 - 2 5 3 6

第四管区海上保安本部海洋情報部 へ

<取材参加>

ご社名

ご芳名

連絡先

電話

※当日の明洋入港時の撮影（ 希望 ・ 否 ）

質問事項